

# 測定所の仲間が増え続けています！

## 1月11日 西日本ネットワーク報告

1月11日、丹波橋測定室に、西日本の測定所の面々が集いました。各測定所で測った検体から放射能が検出された事例や、とりくみの報告を持ち寄りしました。概要を下記に報告します。(楠本)

### ★京都・市民放射能測定所

依頼を受け、福島県と茨城県などの土壌を集中して測定。郡山市の土壌の中に、セシウム合算48,100Bq/kgも検出されたことに驚き。高浜町、大飯町に行き、原発付近を『ホットスポットファインダー』で移動。

### ★京都北部測定所たんぽぽ

焼芋(茨城産)セシウム137を2.76Bq/kg検出。

### ★高槻測定所

茨城県産玄米 セシウム合算14.0Bq/kg検出など。

### ★奈良測定所

公園のすべり台の下の土壌、福島産のりんご、白米、柿の測定結果など。

### ★阪神測定所

有機肥料、牡蠣殻石灰の測定結果など。

### ★おのみち測定依頼所

福島産白米の測定結果と経時変化など。

### ★さかな二匹の測定所

年末年始の空間線量の変化、兵庫県と近隣の土壌の測定結果など。

### ★南福崎土地放射能測定室

ゲルマニウム測定器でのクロスチェック結果。

### ★おうみ測定所

昨年11月29日、滋賀県近江八幡市に『おうみ市民放射能測定所』が開所式を迎えました。おうみさんの測定機は、ベラルーシのATOMTEX社製のAT1320Aを導入されました。

その後、場所を東近江市にある飲食店『姉妹舎』(店主さんが主要測定スタッフ)さんに移し、店舗営業中に測定を行い、放射能測定の判断の難しさに日々格闘中だそうです。

みなさん応援よろしくお願いします。

姉妹舎さんのホームページはこちらです。

<http://dekosimaisha.shiga-saku.net>

### ★お魚ゲルマ測定

3月27日(日)高浜町で水揚げされたイカを測定する予定。(京都測定所が担当)

大阪大学 日本学 学生企画 トーク＆ワークショップ

## 被曝を語る

東電福島第一原発事故以後、私たちは「被曝」という問題について、どのような行動を取り、どのように語ってきたのだろうか。メディアや行政は、どのように語っているのだろうか。誰の、どんな情報を、何を理由に選んだら良いのだろうか。

「安全だ」と言われるものを「危険だ」と思うとき、「危険だ」と言われるものを「安全だ」と思うとき、「気にしなくて良いんじゃない?」「気になるんだけど・・・」と思うとき、判断するための信じられる情報を主体的に調べ、考え、獲得していくことがいかに、どのようにしてできるのだろうか。

被曝の見えなさ、「科学」の分かりにくさ、氾濫する情報のなかで、暮らしの中の被曝は問題化しにくく、語りにくい。被曝を避けようとして住居や食物を選ぶこと、そして不安を口にすることも。

ジャーナリズム、表現・体験・移動・居住・食・測定・調査などの多様な実践や生活感覚を生きたる個人々の体験から、被曝をめぐる疑問や不安を語る/語り合うこと。そこから、フクシマ以後の社会の姿を考える糸口を探る。

2016年2月12日(金)13:00~17:20  
場所:大阪大学学生・コモンズ(豊中キャンパス <http://www.celas.osaka-u.ac.jp/s/c>)

一部 13:00~15:00  
趣旨説明/おしどり トーク・質疑応答

二部 15:20~17:20  
ワークショップ

西井麻里奈(文学研究科 博士後期課程)  
京都府放射線測定所  
自主選定している方法が、参加者の皆さんと意見交換

申し込み・問い合わせ先  
[hibaku\\_kataru0212@yahoo.co.jp](mailto:hibaku_kataru0212@yahoo.co.jp)  
(当日参加も可ですが、できれば事前にご連絡ください)

おしどり  
ふしとクリエティブ・エージェンシー所属。  
マニカンの編集コンピ。福島原発事故後、随時行われている東電電力の記者会見、省庁、地方自治体の会見、学食・シンポジウムを機動的に取材。現地に足を運び、その現場を様々な媒体で公開している。フォトジャーナリズム誌「DAVIS JAPAN」の編集委員もつとめる。



## ♪大阪大学での学生企画に参加しました♪

2月12日に、大阪大学豊中キャンパスで開催された『トーク&ワークショップ 被曝を語る』に、京都測定所として招待を受け、私佐藤がパネラーとして発言してきました。

第一部は、おしどりマコさん・ケンさんからの報告。福島第一原発事故以降、ものすごい突撃取材、突撃インタビューを重ねてこられた話は、迫力がありません。

私は、測定所で測ってきたことを中心に、汚染の実態と、今後は汚染物が「広く」「薄めて」「リサイクル」されようとしている危険性を語りました。

私は阪大OBなので、学生が中心になって企画されたことが嬉しく、交流会も楽しく参加してきました。この中から新しい測定スタッフができてくれたら、いいですね。(佐藤)